

姫路赤十字病院だより



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



contents

- 院長より新年度に寄せて
- 呼吸器外科新設について
- 医療倫理講演会
- 診療科の紹介 血液腫瘍内科・呼吸器内科
- スキルアップ研修会
- 稲川淳二さん講演会
- 認定看護師・専門看護師
- 病院フェスタ
- 研修会開催予定一覧
- 採用・退職
- FAX 紹介について

Vol. **12**
2016.4

新年度のごあいさつ

新しい年度が始まり、診療報酬改定がなされたことも相まって、皆様におかれましては、気持ちも一新されいろいろな取り組みをされていることと思います。当院でも、医師、看護師を始め多くの職員を迎え入れ、病院の体制維持、強化に努めています。

日本財政が大変厳しいなか、世界に類のない高齢社会を迎え、さらに持続可能な医療制度構築に向けて、政府は“骨太の方針2015”に示すように医療分野でも改革に本腰で取り組んでいます。2025年高齢社会のピークを乗り切るため、中・西播磨医療圏でも、行政・医師会を中心に各医療機関、介護施設、福祉施設等、お互いが連携して、より良い地域包括ケアシステムの構築を目指して協議を重ね、本年度半ばには答申が出されます。わたしたちの病院は、高度急性期・急性期の機能を担ってまいります。これまで救急医療、小児・周産期医療、がん診療など高齢社会を迎える地域住民に必要とされる機能を整え、充実することにより、心のかよう安全で良質な医療を実践する病院として地域医療を担ってきました。皆様のおかげでこのたび、病院診療機能群II群(大学病院に準じる機能を持った病院)として評価を受けました。さらに機能を充実させ、これからも引き続き地域医療に貢献し続けます。

医療資源は限られており、特にこの地域は人口あたり医師数が全国平均を下回っています。医師会と協力して、さらに効率的に地域医療を行うには医師会の先生方との連携を緊密にする必要があります。このため地域医療支援病院としての役割を推し進めており、当院では、地域医療連携室を中心に様々な取り組みをしております。この度の診療報酬改定で、500床以上の病院に紹介状無しで初診となりますと、最低5,000円の定額負担をお願いすることになります。患者さんのご迷惑を少しでも緩和するためにも、日本医師会の勧める「かかりつけ医」の制度を地域の先生方とともに推し進めることができると考えています。

取り組みの一部を紹介しますと、FAX紹介では、医師会の先生方また患者さんにとってさらに住民に対しても利用しやすくするため一週間以内の診察予約、予約日の即時回答、医院の開業時間に合わせて午後7時までの受付延



長、そして土曜日午前中対応などを行っています。医師会の先生方による協力のおかげで効果が表れており、感謝しています。また入院される患者さんには、紹介から診察、入院前検査、入院、そして退院後逆紹介、さらに患者さんの不安に応えるため入退院センターを立ち上げ、機能の充実を図っています。

機能面では総合周産期母子医療センターの認可を受け、NICU(新生児集中治療室)、MFICU(母体胎児集中治療室)も充実させ周産期医療に取り組んでいます。救急医療に関して、小児救急は医師会との協力のもと今まで通り24時間・365日体制で行っています。また“救急車、紹介の患者を断らない”のもと2~2.5次急患に対して職員が協働して取り組み、脳血管系の救急では脳・心臓血管センターで対応しています。昨年8月に呼吸器内科を開設しましたが、この4月からはこれを増員、さらに新たに呼吸器外科も開設し、呼吸器疾患に対応すべく体制を整えました。また癌の治療として、手術療法、放射線療法と並んで重要である化学療法をさらに充実するため、がん薬物療法専門医専門医によるがん化学療法センターを開設いたしました。

これまでも・これからも地域あつての赤十字病院でありますので、医師会関係の方々と緊密な連携を図り、紹介患者さんを積極的に受け入れ、逆紹介もさせて頂く方針で地域医療に貢献いたします。先生方から忌憚なきご指導を賜れば幸いです。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

院長 佐藤 四三

呼吸器外科 新設について

平成28年4月より、呼吸器外科を新設することになりました。胸部にあって肺・気管・気管支・縦隔(じゅうかく)・胸壁・横隔膜など心臓や食道以外の、呼吸器にかかわる疾患の手術治療を担う科です。

主な疾患としては、

- ・肺腫瘍性疾患：肺がん、転移性肺腫瘍、肺良性腫瘍
 - ・縦隔の疾患：縦隔腫瘍(とくに胸腺腫(きょうせんしゅ))、重症筋無力症、神経原性腫瘍
 - ・胸壁・胸膜の疾患：胸膜中皮腫(きょうまくちゅうひしゅ)、胸壁腫瘍
 - ・気腫性肺疾患：気胸、肺のう胞、肺気腫
 - ・炎症性疾患：膿胸(のうきょう)、肺化のう症
 - ・胸部外傷
- などがあります。

現在手術の対象として最も多いのが肺がんです。肺がんのすべてが手術になるわけではなく約1/3が手術適応になります。

最近画像診断の進歩(特にCT検診等の導入)により小さな肺がんが多く見つかるようになってきました。一方この20年ほどで手術器具も大きく進歩してきました。一つは胸腔鏡の手術です。従来は約20cmほど切って手術を行っていましたが、胸腔鏡の手術では5cm程度の傷が1箇所、1cm程度の傷が数箇所ですみ、術後の痛み軽減に貢献できると考えられています。当科でもこの胸腔鏡の手術を積極的に行っていく予定にしています。

昨年8月に開設しました呼吸器内科と協力しながら、皆様のお役に立てるように精一杯尽力させていただきます。よろしくお申し上げます。

(呼吸器外科部長 澤田 茂樹、副部長 水谷 尚雄)



医療倫理講演会 End of life-終末期-における医療倫理



3月3日、帝京大学医学部緩和医療学講座教授の有賀悦子先生をお迎えして、「End of life-終末期-における医療倫理」と題して、倫理についての講演会が開催されました。当日は院外から28名、院内から317名と多数の参加があり、倫理に対する関心の高さが伺えました。

講演会の前半では、自己決定、アドバンスケアプランニングなど、最近よく使っている言葉などをわかりやすく整理して頂きました。また、「予後の表現方法」として、病状の変化を月単位・週単位・日単位と幅を持たせた表現をする事。人の生死に関わる大変大きな決断をする代理決定者について、そのストレスは自己決定以上に大きいので、「救命処置をどうしますか?」と聴くのではなく、「〇〇さんだったら、どうしたいとおっしゃるでしょうか?」と聴いてみる。など、明日からの臨床ですぐに活かせる内容も教えて頂きました。

講演会の後半では、有賀先生が体験された事例を用いて、臨床倫理の4分割法を学びました。参加者が、事例の情報を4分割法のシートに書き出して、ディスカッションするという講義スタイルだったので、臨床倫理4分割法に初めて触れた人も理解を深めることが出来ました。また、事例を通して、有賀先生の患者さんに対する誠実なお人柄を垣間見ることが出来ました。

今後も、倫理的感受性を高め、多職種ケアチームで患者・家族にとっての最善を検討して行きたいと思います。

(緩和ケアチーム師長 井上 豊子)



診療科の紹介

血液腫瘍内科

【スタッフ紹介】

平松 靖史 血液・腫瘍内科部長 兼
呼吸器内科部長
(平成4年卒／血液・腫瘍)

長谷川 詠子 医師
(平成20年卒／内科一般・血液)

望月 直矢 医師
(平成24年卒／内科一般・血液)

藤原 悠紀 医師
(平成25年卒／内科一般・血液)

水原 健太郎 医師
(平成26年卒／内科一般・血液)



当科の診療方針

平成19年6月に血液・腫瘍内科が新設され今年で9年目になりました。新規患者数は全国でトップクラスとなり、常時50人前後/日の患者さんが入院されています。日本血液学会認定専門医2名と後期研修医3名の5人の医師で対応していますが、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリ、口腔ケアチーム、緩和チームなど多職種と協働することで患者さまを守っていく体制を築いています。血液疾患と一言で言ってしまうのですが、血球、血漿、凝固系などの異常で病気が生じるため、想像を超える幅広い疾患に対応することを要求されます。良性疾患では貧血、血小板減少、凝固異常など、悪性疾患では悪性リンパ腫、白血病、骨髄腫、骨髄異形成症候群など、ほぼすべての血液疾患に当科で対応してきました。病気が判明したあとも、有意義な人生を歩み続けることができるように、医療スタッフと患者さん、ご家族が同じ治療目標を共有し、「人道・博愛」の気持ちをもって、受診してよかったと思っただけの診療科にしていきたいと思えます。

地域の医療機関の先生へ

新規の患者さんをお待たせせず、速やかに対応するために完全予約制とし、事前のFAX予約をお願いしています。診察を急ぐ患者さまの場合は直接地域連携室に連絡いただければ対応させていただきます。治療期間や治療後の経過観察中も医療機関の先生方と情報を共有し、ともに患者さんに貢献できればと思います。ご指導、ご協力よろしく申し上げます。

(血液・腫瘍内科部長 平松 靖史)

平成27年度 診療実績

平成27年 新規患者数

急性白血病	22例
慢性骨髄性白血病	4例
骨髄異形成症候群	22例
悪性リンパ腫	84例
骨髄腫	20例

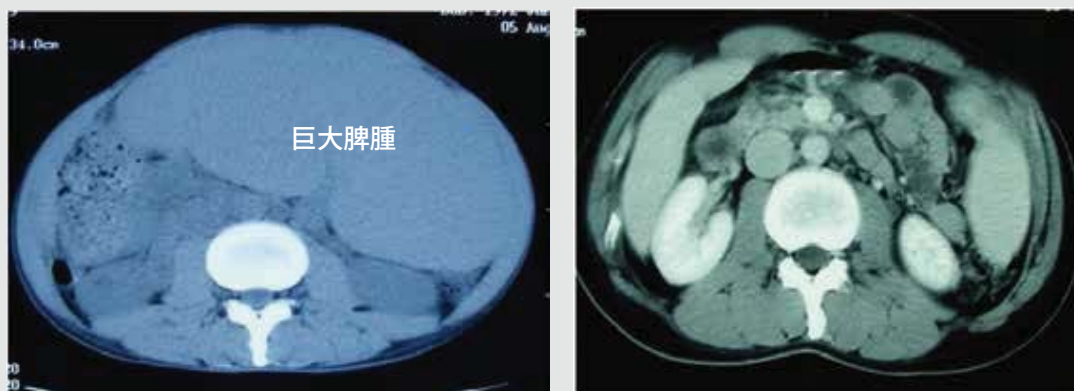
外来で治療できる血液がんの治療法について

慢性骨髄性白血病：CML

分子標的薬であるチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）を内服し続けることで8年後の生存率が約9割と著効するため、治療戦略が変わっています。次々に新規のTKI製剤が使用可能となってきており、内服薬のみで完治することも夢ではなくなってきました。

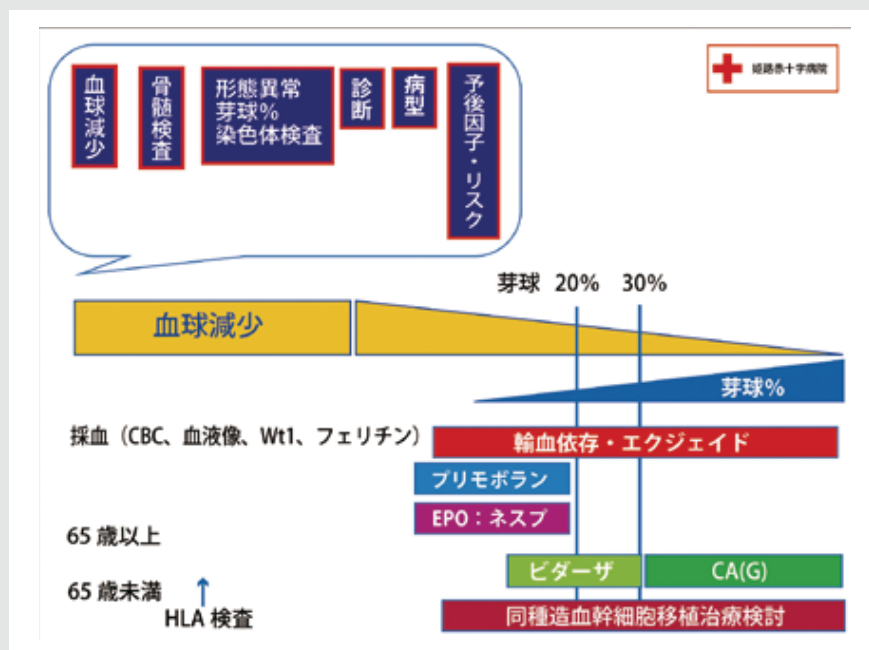
白血球増多が持続している患者さんに、FISH法 BCR/ABL 採血検査をおこなうことでCMLかどうかを簡便に診断することができます。

症例：治療後3か月で脾腫は著明に縮小し著効しています。



骨髄異形成症候群：MDS

高齢に伴い、軽度の貧血がある患者さん（お年寄の貧血と昔は言われ放置されていたこともありましたが）が多くなっています。その中にMDSが紛れていることがあります。残念ながら完治は困難な疾患ですが、QOLを維持しながら外来でアザシチジン（ビダーザ®）やエリスロポイエチン（ネスプ®）等の治療が可能となっています。



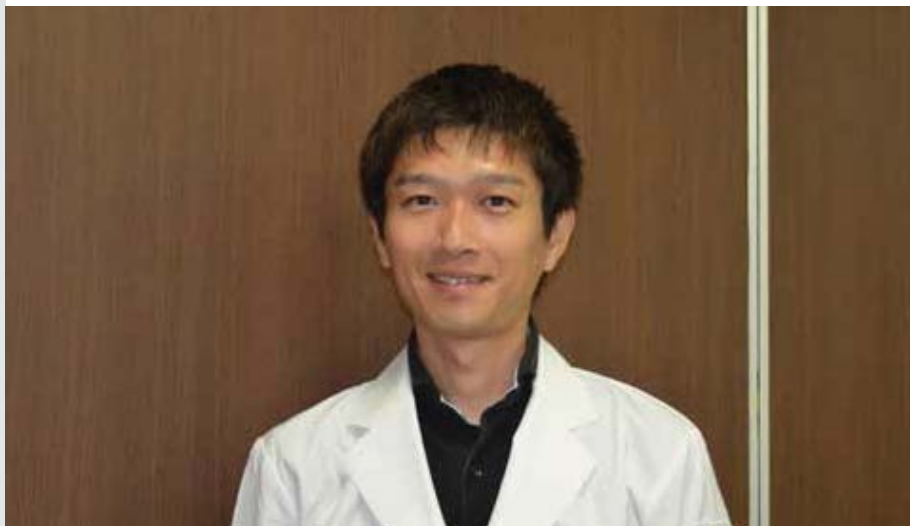
診療科の紹介

呼吸器内科

【スタッフ紹介】

村上 斗司 呼吸器内科副部長
(平成16年卒/呼吸器内科)

岸野 大蔵 医師 (4月1日より着任)
(平成7年卒/呼吸器内科)



当科の診療方針

2015年8月に新規開設しました呼吸器内科ですが、無事に半年が経過しました。肺炎や非結核性抗酸菌症などの呼吸器感染症、間質性肺炎などの間質性肺疾患、気管支喘息などのアレルギー疾患、肺気腫などの慢性呼吸器疾患、および肺癌などの悪性腫瘍を中心に呼吸器疾患全般において診療を行っています。特に肺癌においては最新の知見に基づき診断や治療を行っています。患者の皆様が納得しながら質の高い呼吸器医療を受けて頂くことを目標としていますので、医師のみならず看護師や薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー、栄養士などがチームを組んで診療にあたっております。

診療内容

検査においては、一般的な気管支内視鏡検査に加え超音波ガイド下リンパ節生検 (EBUS-TBNA) やガイドシース法を用いたEBUS-GSによって、より確実な組織採取法を行っています。また胸水貯留例においては、局所麻酔化胸腔鏡検査も行っています。

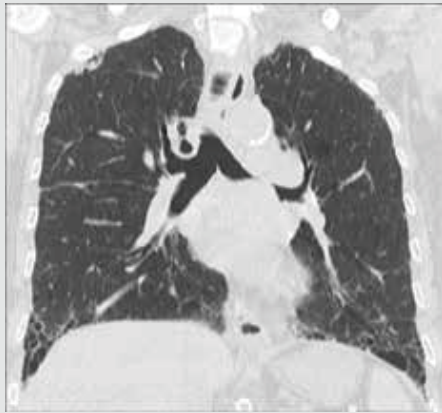
呼吸器インターベンションにおいては、気管支喘息に対する気管支サーモプラスチック療法、気道内異物除去や難治性気胸におけるEWS充填術、症例に応じては気道狭窄におけるステント治療も行っています。

地域の医療機関の先生へ

現在、限られた資源と設備でできている状況です。しかし、今年4月から呼吸器外科医が2名赴任されることによって、内科では対応できなかった疾患も対応できるようになります。また、同じく呼吸器内科医も2名増員することとなっています。周囲の医療関係者の皆様と連携をさせていただき患者様のご負担をできる限り軽減し、かつ専門的な医療を最大限に御提供できるような体制を整えていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

(呼吸器内科副部長 村上 斗司)

臨床検査科の今年度経験症例から

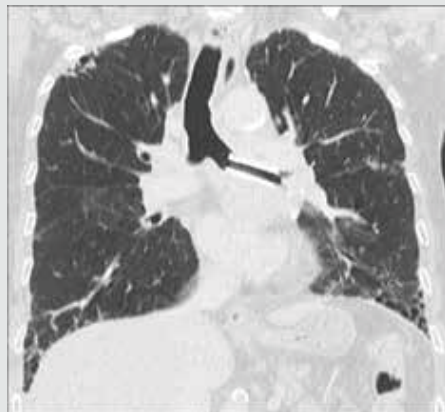


CT (留置前)

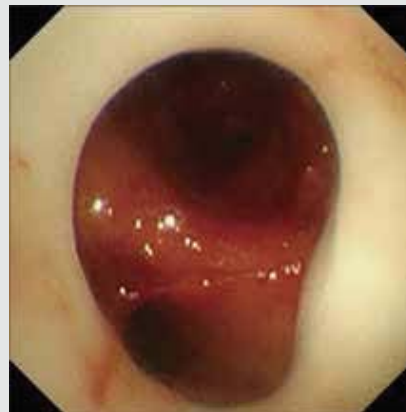


左主気管支 (留置前)

図1 胃がん再発による気道狭窄

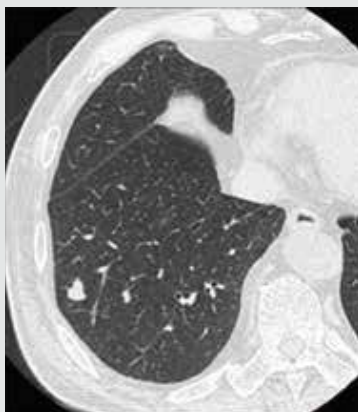


CT (留置後)

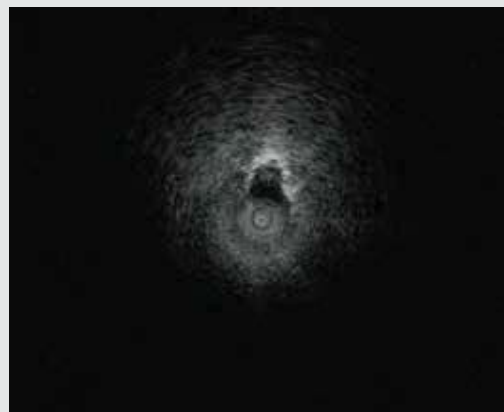


左上下葉分岐部 (留置後)

図2 圧排狭窄のためDumon Y-stentを留置



CT (右下葉小结節)



超音波内視鏡生検

図3 末梢病変の診断 (小細胞癌)

NEWS

スキルアップ研修会

以前は、ひとつの病院で救急からリハビリ、終末期までをすべて行っていた「病院完結型」でした。しかし近年は、急性期、回復期、療養、在宅と役割分担となり「地域完結型」医療提供へシフトしています。

その中で、少しでも皆様と一緒にこの地域で、住民・患者さんが安心して住みやすい地域となれるようにこの研修を昨年より開始しました。

今回は、『慢性期の人工呼吸器管理について』をテーマで医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士など多職種の講師を準備しました。募集定員が40名のところでしたが、定員を上回る55名の応募がありました。時間がタイトでしたが、実技も見ていただき積極的に質問が飛び交う姿もあり、参加者の熱意を感じました。

28年度も皆様に参加していただけるようなスキルアップ研修をしていきます。是非とも参加していただけますようよろしくお願いいたします。

(地域連携課 課長 前田 智成)



NEWS

中播磨地域がん診療連携拠点病院主催 市民向け講演会を開催しました

いつも穏やかな気候の姫路の町に数十年に一度とも言われる大寒波が到来した1月24日(日)に、タレントの稲川淳二さんをお招きして中播磨地域がん診療連携拠点病院主催の市民向け講演会を開催しました。中播磨地域がん診療連携拠点病院とは中播磨圏域において地域がん診療連携拠点病院として指定されている姫路医療センターと当院で構成されており、市民向け講演会は今年で6回目となります。講演では前立腺がんの診断を受けた稲川さんが、手術用ロボット「ダヴィンチ」を使って行われた手術や病棟看護師との楽しいエピソードについてお話し下さり、お陰様をもちまして大盛況のうちに終わることができました。

この講演会を通じて一人でも多くの方に検診や早期発見の重要性を知っていただく機会になればと思います。

(総合相談支援課 中杉 かおり)



認定看護師・専門看護師紹介

■ 母性看護専門看護師

2015年に母性看護専門看護師の認定を受けることができました。周産期の女性やその家族に対し、質の高い医療・看護が提供できるように、他職種と連携しながら活動することが求められるため、アセスメント力や調整能力が高められるように、自分の関わりを反省し、勉強している毎日です。

当院は総合周産期母子医療センターの役割を担っており、リスクの高い妊娠、出産を迎える方が多くおられるため、個々の身体的、心理・社会的な課題に応じて、適切なケアが提供できるように他職種の方と連携し活動していきたいと思います。また、入院期間は限られているため、地域での生活を基盤に置き、地域から病院に入院するまでの経過や、病院から地域に退院する際の情報を、地域の皆様と共有し、協力・連携して継続したケアを行っていきたく考えています。

院内はもとより、地域の皆様とも、周産期の女性やその家族をサポートし連携していくチームとして、それぞれの部門や職種間を繋ぐ役割を担えるように活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



(MFICU 看護係長 小塩 史子)

■ がん専門看護師



今まではがん化学療法認定看護師として患者さんのケアに携わってきましたが、この度、がん専門看護師としての一步を踏み出しました。専門看護師とは複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師とされています。主な役割としては①個人、家族及び集団に対して卓越した看護を实践する②看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う③必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々とのコーディネーションを行う④個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる⑤看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす⑥専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う、という6つの役割を果たすことが求められています。

がんと診断されることは身体的な辛さだけではなく、心理社会的な辛さも引き起こします。がん医療においてはCureだけではなくCareの果たす役割が大きなことが認められています。Careすることを専門とする看護師として患者と医療、地域をつなぎ、患者中心の医療を提供するお手伝いができればと思っています。まだまだ至らない点も多いかとは思いますが、お気軽に声を掛けていただけると嬉しいです。

(医療社会事業部 看護係長 福井 由紀子)

病院フェスタ in 姫路赤十字病院

「病院フェスタ in 姫路赤十字病院」を平成28年5月21日(土)に開催します。地域住民の方々に姫路赤十字病院をより身近に感じてもらい、赤十字や医療について興味を持っていただくことを目的に開催し、今年で8回目を迎えます。

シミュレーターによる採血の手技体験、白衣や赤十字救護服の試着など子供から大人まで広く楽しめるコーナーを企画しており、毎年たくさんの方にご来場いただき好評を得ています。

詳細は今後当院のホームページなどでお伝えしていきます。

(総務課 主事 町田 陽子)



平成28年度 姫路赤十字病院 研修会開催予定一覧

▶ 看護師研修

レベルIII研修

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
4月21日(木) 14:30~15:45	実習指導	・青年心理、教育方法 ・実習指導者の役割 ・カンファレンスの持ち方	看護師長・臨床指導者	レベルIII
5月6日(金) 9:00~16:00	教育担当者研修	・新人看護職員の理解 ・教育担当者の役割理解	看護副部長・看護師長	レベルIII
7月22日(金) 13:00~15:00	研修企画をしてみよう	・研修の企画・運営・評価のプロセス ・研修企画を立案し、全体研修を実践	看護師長	レベルIII
6月17日(金) 13:30~15:00	リーダーシップ	・リーダーシップについて ・職場の状況分析と課題解決過程	看護師長	レベルIII
6月24日(金) 8:30~16:30	看護ケア研修:得意な技術を教える(BLS)(半日コース)	・急変時の看護 ・救急蘇生術の基礎知識 ・実技	医師・小児救急認定看護師・ICLSインストラクター他	レベルIII
7月8日(金) 13:30~15:00	コーチング①	・後輩育成とコーチングスキル(講義)	教育担当師長他	レベルIII
8月5日(金) 13:30~15:30	実地指導者研修②	・実地指導者の役割の理解 フォローアップ	教育担当師長・ 看護師長・看護係長	レベルIII
8月12日(金) 13:30~15:00	看護ケア研修:看護の技を磨こう(ポジショニング)	・ポジショニング(移乗・移動)実技	褥瘡管理者	レベルIII
9月9日(金) 13:30~15:00	コーチング②	・後輩育成とコーチングスキル(事例)	教育担当師長他	レベルIII

レベルII研修

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
5月24日(火) 13:30~14:30	看護研究(基礎編)	・看護研究	専門看護師	レベルII・III
6月16日(木) 13:30~14:30	赤十字と看護倫理II「倫理的感受性を養おう」	・赤十字の原則 ・倫理的感受性を高めるために	看護係長	レベルII
7月22日(金) 13:30~15:00	看護理論	・看護理論について	看護師長	レベルII・III
7月7日(木) 13:30~15:00	急変症状のアセスメント	・急変症状のアセスメント	集中ケア認定看護師	レベルII
8月19日(金) 13:30~14:30	看護と診療報酬	・保健医療・福祉の仕組み ・医療経済の仕組み ・看護ケアと診療報酬等との関連	看護部長	レベルII
9月16日(金) 13:00~15:00	後輩育成	・後輩育成 ・リフレクション	外部講師	レベルII

レベルI研修

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
4月7日(木) 9:30~10:50	看護とコミュニケーションI-①「接遇」	・看護技術を支える要素となるコミュニケーションについて ・看護職者として必要となる接遇	看護副部長	レベルI (新入オリ)
4月7日(木) 9:30~10:50	看護職のキャリアについて	・キャリア開発について	教育担当師長・ 看護係長他	レベルI (新入オリ)
4月11日(月) 10:10~12:10	基礎看護技術「褥瘡管理」	・褥瘡予防対策、処置やケアを含めた褥瘡管理	褥瘡管理者	レベルI (新入オリ)
4月11日(月) 13:00~15:00	基礎看護技術「感染予防」	・感染予防対策	感染管理認定看護師	レベルI (新入オリ)
4月12日(火) 8:30~11:00	フィジカルアセスメント入門①	・看護の視点からみるフィジカルアセスメントの基礎知識 ・バイタルサインの測定方法・アセスメント	集中ケア認定看護師	レベルI
4月12日(火) 11:10~12:00 12:45~14:15	基礎看護技術「医療安全①」	・医療事故についての基礎知識 ・医療安全についての意識付け ・チーム医療におけるコミュニケーション	医療安全管理者	レベルI (新入オリ)
4月15日(金) 8:30~12:30	基礎看護技術「採血」	・看護技術と看護業務について ・採血業務について	教育担当師長・ 看護係長・実地指導者	レベルI (新入オリ)
4月15日(金) 13:30~16:30	基礎看護技術「注射・与薬①」	・看護技術と看護業務について ・輸液管理について	教育担当師長・ 看護係長・実地指導者	レベルI (新入オリ)
4月18日(月) 8:30~10:30	医療と診療情報(看護記録)	・個人情報保護について ・看護記録の記載について	看護部記録委員会委員長	レベルI (新入オリ)

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
4月18日(月)10:40~12:10	看護専門職としてのリフレクション	・リフレクション	看護係長	レベルI (新入オリ)
4月18日(月)13:00~16:00	フィジカルアセスメント入門②	・看護の視点からみるフィジカルアセスメントの基礎知識 ・バイタルサインの測定方法・アセスメント	集中ケア認定看護師	レベルI (新入オリ)
4月28日(木)13:30~14:30	キャリア適応過程	・キャリア適応過程について	看護副部長・教育担当師長	レベルI
5月30日(月)13:30~14:30	基礎看護技術 与薬②	・麻薬管理	緩和ケア認定看護師	レベルI
6月24日(金)13:30~17:00	フィジカル入門③ 「救急看護(BLSコース)」(半日コース)	・急変時の看護 ・救急蘇生術の基礎知識	医師・小児救急認定看護師・ACLSインストラクター 他	レベルI
7月21日(木)13:30~14:30	看護倫理I	・赤十字の基本原則 *(赤十字以外の方も大歓迎です) ・看護師にとっての看護倫理について	看護係長	レベルI
8月26日(金)13:30~15:00	フィジカル入門④「食事・排泄」	・看護の視点からみるフィジカルアセスメントの基礎知識 食事・排泄	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルI
9月12日(月)13:30~14:30	マインドセルフケア	・ストレスマネジメント	臨床心理士	レベルI

助手研修

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
5月18日(水)13:30~14:30	感染対策	・感染予防について	感染管理認定看護師	看護助手
7月6日(水)13:30~14:30	助手研修	・看護助手業務について	教育担当師長・看護係長	看護助手
9月2日(月)13:30~14:30	助手研修	・看護助手業務について	教育担当師長・看護係長	看護助手

専門・認定看護師研修

実施予定日時	テーマ	主な内容	講師	対象者
7月14日(木)	中播磨がん看護事例検討会	・がん看護について	緩和ケア認定看護師	全体
8/8or9	PCAポンプ取り扱い説明会	・PCAポンプ取り扱い説明について	緩和ケア認定看護師	全体
9月8日(木)	中播磨がん看護事例検討会	・がん看護について	緩和ケア認定看護師	全体

看護師研修、専門・認定看護師研修について

詳しくは http://himeji.jrc.or.jp/kangobu/kyouiku_program.html をご覧ください。

問い合わせ先 姫路赤十字病院 看護部 TEL 079-294-2251(内線3001)/FAX 079-296-4050

▶医療従事者スキルアップ研修会

研修名	開催場所	対象者	定員	開催日程	締め切り	案内・問合せ
第30回地域連携カンファレンス (麻酔科・内科)	多目的ホール	医師、 看護師等医療関係者	なし	4月21日(木) 17:30~19:00		地域医療連携室
第31回地域連携カンファレンス (産婦人科・皮膚科)	多目的ホール	医師、 看護師等医療関係者	なし	6月開催予定		地域医療連携室
第32回地域連携カンファレンス (循環器内科・心臓血管外科)	多目的ホール	医師、 看護師等医療関係者	なし	9月開催予定		地域医療連携室
がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	大会議室	医師24名 看護師、薬剤師等	医師:24名 看護師、薬剤師等:若干名	5月21日(土) 22日(日)	4月15日	総合相談支援課
中播磨がん看護事例検討会	多目的ホール	看護師	看護師20名程度	5月より開催予定	3月25日	総合相談支援課
看護師緩和ケア研修会 (ベーシックコース)	多目的ホール	看護師	20名程度	10月5日(水) 31日(月) 11月7日(月)	9月16日	総合相談支援課

がんの早期発見に関する研修会、医療従事者スキルアップ研修会について

詳しくは <http://himeji.jrc.or.jp/category/class/index.html> をご覧ください。

問い合わせ先 姫路赤十字病院 地域医療連携室 TEL 079-299-5514/FAX 079-299-5519

姫路赤十字病院 総合相談支援課 TEL : 079-294-2251(内線2370) FAX : 079-299-0037
E-mail : soudan@himeji.jrc.or.jp

採用・退職

【採用医師】平成28年4月1日採用

氏名：澤田 茂樹
(さわだ しげき)
配置：呼吸器外科
役職：呼吸器外科部長氏名：松本 俊彦
(まつもと としひこ)
配置：内科
役職：第一内科副部長兼化学療法副センター長(院内呼称)氏名：岸野 大蔵
(かしの だいぞう)
配置：内科
役職：呼吸器内科副部長氏名：久保西 四郎
(くぼにしろう)
配置：内科
役職：血液・腫瘍内科副部長氏名：水谷 尚雄
(みずたに ひさお)
配置：呼吸器外科
役職：呼吸器外科副部長氏名：乗金 精一郎
(のりかね せいいちろう)
配置：放射線科
役職：放射線診断科副部長氏名：新光 阿以子
(しんこう あいこ)
配置：脳神経外科
役職：第二脳神経外科副部長氏名：幡中 邦彦
(はたなか くにひこ)
配置：循環器内科
役職：第一循環器内科副部長氏名：神吉 直宙
(かみよし なおひろ)
配置：小児科
役職：医師氏名：森川 達也
(もりかわ たつや)
配置：外科
役職：医師氏名：神野 雅
(じんの ただし)
配置：泌尿器科
役職：医師氏名：河合 清日
(かわい さやか)
配置：産婦人科
役職：医師氏名：杉山 和歌菜
(すぎやま わかな)
配置：産婦人科
役職：医師氏名：中澤 浩志
(なかざわ ひろし)
配置：産婦人科
役職：医師氏名：松本 瑠以子
(まつもと るいこ)
配置：リハビリテーション科
役職：医師氏名：川瀬 宏和
(かわせ ひろかず)
配置：麻酔科
役職：医師氏名：南 絵里子
(みなみ えりこ)
配置：麻酔科
役職：医師氏名：水原 健太郎(みずはら けんたろう)
配置：内科 役職：修練医氏名：中迫 正祥(なかさこ まさよし)
配置：小児科 役職：修練医氏名：鮫島 智大(さめじま ともひろ)
配置：小児科 役職：修練医氏名：東口 素子(ひがしぐち もとこ)
配置：小児科 役職：修練医氏名：藤原 絢子(ふじわら あやか)
配置：小児科 役職：修練医氏名：明神 翔太(みょうじん しょうた)
配置：小児科 役職：修練医氏名：西江 尚貴(にしえ なおき)
配置：外科 役職：修練医氏名：藤本 卓也(ふじもと たくや)
配置：外科 役職：修練医氏名：吉田 有佑(よしだ ゆうすけ)
配置：外科 役職：修練医氏名：梁 英敏(やん よんみん)
配置：泌尿器科 役職：修練医氏名：杉野 智子(すぎの ともこ)
配置：産婦人科 役職：修練医氏名：番匠 里紗(ばんじょう りさ)
配置：産婦人科 役職：修練医氏名：谷本 寿彦(たにもと としひこ)
配置：リハビリテーション科 役職：修練医氏名：宮崎 亮(みやざき りょう)
配置：リハビリテーション科 役職：修練医氏名：小松 弘明(こまつ ひろあき)
配置：心臓血管外科 役職：修練医氏名：河合 穂高(かわい ほたか)
配置：病理診断科 役職：修練歯科医氏名：永野 優(ながの ゆう)
配置：循環器内科 役職：修練医氏名：山田 隆史(やまだ たかし)
配置：循環器内科 役職：修練医

【退職医師】平成28年1月31日付退職

集中治療部長(麻酔科) 仙田 正博
 医師(歯科口腔外科) 小川 雄右
 医師(内科) 高田 斎文
 医師(小児科) 多田 慎吾
 医師(泌尿器科) 桑原 元
 医師(産婦人科) 松本 典子
 医師(産婦人科) 佐藤 麻夕子
 医師(麻酔科) 稲井 舞夕子

医師(麻酔科) 古島 夏奈
 修練医(小児科) 宮内 寛子
 修練医(小児科) 江洲 有紀
 修練医(小児科) 山村 菜月
 修練医(小児科) 齊藤 晃士
 修練医(外科) 梶原 義典
 修練医(外科) 川原 翔子
 修練医(泌尿器科) 賀來 泰大

修練医(リハビリテーション科) 中川 真一
 修練医(形成外科) 菅野 百加
 修練医(麻酔科) 出口 美希
 修練医(循環器内科) 森 久寿
 修練医(病理診断科) 河田 卓也
 修練医(心臓血管外科) 田井 龍太

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診察日

原則 1週間以内

*但し、検査・診療科・診療内容により及び
希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先

地域医療連携課 TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)